

愛の情熱が筆を運んだのか
革命の血が塗り込められたのか
伝説の名画が
恋と戦いの神秘的な
運命をもてあそぶ……

五木寛之・原作<新潮文庫刊>/山下耕作監督作品

戒嚴令の夜

サントラ盤■オレンジハウス・レコード 主題歌「哀しみのフロレーンス」・歌■アマリア・ロドリゲス



東宝

原力・ルフィウム、
ドレフアラ、
ス・ペイン、
ラト、
企画・藤野、
制作・白根、
配給・東宝株式会社

伊藤孝雄
樋口可南子
佐藤 慶
伊波 静子
長門 勇
岩崎 裕子
ナイン・スター
エリカ・マリア・エル
マリア・デル・ピラ
イタリ・ハル
ラモ・マリア・マ
ル・ス・マリア・マ

藤田進三

大木 実

191357-202

東京音協7月例会

¥1000

(一般1400円の処
音協会員に限り)

ヒビヤ 千代田劇場 (591) 1716	上野駅前 上野東宝 (831) 3431	伊勢丹前シネタウン 新宿東宝ビレッジ1 (357) 3128	さんし町 江東劇場 (631) 3121
ハチ公前 渋谷宝塚 (461) 8779	歌舞伎町 新宿コマ東宝 (202) 0131	三越前6階通り テアトル池袋 (983) 4258	浅草映画街中央 浅草東宝 (844) 3141

●かいせつ

五木寛之のミリオンセラー「戒厳令の夜」の映画化は、そのスケールの大きさと、作品の舞台であるラテン・アメリカの複雑な国情のために、これまでいくどか話題にあがりながら実現にいたらなかった。

映画化権獲得から三年、コロンビア共和国の全面的ロケーション許可を得て、遂にその壁を破ることが出来た「話題の大作」である。

舞台はヒトラーに略奪されたスペインの幻の画家、プロ・ロペスの百五十点の名画を求めて、九州、スペイン、パリ、戒厳令下のチリといった国々を舞台に、ミステリー・ロマンが壮大華麗に展開していく。

国士・鳴海望洋にふんじて、はじめて老け役に挑む鶴田浩二。また、テレビ小説「こおろぎ橋」(TBSテレビ)から抜擢され、民芸の伊藤孝雄と初の全裸ラフシーンで熱演する80年期待の超大型新人、ヒロインを演じる樋口可南子など、出演者の話題もいっぱいの顔ぶれである。

監督には、「関の弥太っぺ」、「総長賭博」など東映の一連の大作を手がけてきた超ベテランの山下耕作が、名カメラン宮嶋義勇を得て、ダイナミックで華麗な演出を手がけている。南米コロンビアの古都カルタヘナに、九州阿蘇の草千里に、パリの空の下に、鮮烈なラテン・ロック(音楽・ジョー山中)にのせて、画面一杯のサスペンスとロマンで、一段と強く、観客を五木文学の世界へとひきずりこんでいく。

●ものがたり

九州博多、夜霧の中洲バー街、江間隆之は夢魔にさされるように、古びた酒場に足を踏み入れる。そこで発見した少女の像——それはすべての作品が失われてしまった、と信じられているまぼろしの画家、南米ヌエバグラナダのパプロ・ロペスの作品にまぎれもなかった。かつて美術学者を志したが、学園闘争にかかわって刑を受け、いまは浮草のように暮らす隆之。彼はその一枚の絵によって再び学究の生活に戻ると、恩師秋沢敬之助を訪ねる。だがロペスの名を耳にすると、なぜか秋沢は狼狽し、怒り狂って隆之の追返すのだった。しかも秋沢は、ひとり娘の冴子を残して謎の自殺を遂げてしま

う。フランス帰りの友人・伊崎から、ロペスの絵は占領下のパリで、ナチス・ドイツに略奪されたこと、画家自身もゆくえ不明となり、パトロンの同郷の令嬢、イザベルはアトリエで死体となって発見されたことを聞き、隆之は冴子のために、まぼろしの少女像をめぐる真相を明らかにしようとして決意する。隆之は再び九州博多へ——、ロペスの絵を戦前にパリでみたというも大陸浪人・鳴海望洋の門をたたいた。

戒厳令の夜

原作 五木寛之(新潮文庫刊) / 山下耕作監督作品



東宝

はたせるかな、望洋は酒場の少女像をロペスの作品だと断言して、「この絵の背後には血のにおいが立ちこめておる」とつぶやく。望洋の登場でドラマは急転する。みずから西国の化物屋敷のあるじと称するこの怪老人は、腹心のもと自衛隊レンジャー部隊教官・黒崎に命じて、ロペスの全作品がUボートで密かに日本に運ばれ、筑豊炭田の廃鉱に陰匿された事実を突きとめた。

敗戦直後、その廃鉱から少女像を盗み出したのは谷沢康吉(康美)。彼は闇からの脅迫者に追われて逃亡生活を送り、オカマに身をやつしていた。康美の証言から仕掛人の炭鉱成金・原島雄一郎を割り出した望洋は、それが戦後疑獄へとつながる、権力者たちの謀略であることを見ぬく。

いつぼう、ヌエバグラナダの文化省高官であり、イザベルの従姉であるバルデス夫人が来日して、ロペスの作品の返還をもとめた。事態を危ぶんだ原島は、政界のドン・原良介を動かして、望洋の探索を封じこめにかかると虚々実々の渦中に、父親の遺書を読み真相を知った冴子が飛び込んでくる。

秋沢敬之助は、若き日に友人の水田秀雄と原島の依頼でロペスの絵を鑑定した。占領軍当局に訴え出たが、そのGHQ情報部の手で水田は惨殺された。秋沢は生涯このことを口外しないと誓わされたのだ。

望洋は奮然と起って、原島の一党に戦端をひらく。黒崎とその部下の柴崎勝利ら、レンジャーくずれの一隊を率いて、原島邸に乗りこみロペスの全作品を奪いかえし返す刀で自衛隊に変装して「総理を囲む九州政・財界懇談会」に乱入。首相を人質にしてホテルに立てこもり、壮烈な爆弾を遂げる。

隆之・冴子は、外道山人の長・鹿火華人の土蔵にかくまわれる。奇しき運命のきずなは二人を霊と肉で固く結び、一糸まとわぬ愛の営みがそこで完成するのであった。ロペスの全作品は九州日田市から、大阿蘇の草千里を走り、球磨川の急流を下って有明海へ、山人海人によって運ばれ、恋人たちはニッポンを脱出していく。

バルデス夫人の手配した帆船で、はるかな天津へむかう。カリブ海をよぎり、ヌエバグラナダの古都カルタヘナへ、ロペスの作品群は無事にその祖国へ送り届けられた。だが、こもまた戒厳令。闘牛場に城趾に処刑の血潮はかぎりなく流されて、バルデス夫人は同志と共に捕えられ、二人は森林を、沼地を、荒野を、少女像を胸に抱いて、よろめき傷つきながら歩みつづける。

力つきて倒れる冴子、はげます隆之。だがついに二人は、クーデターの反乱軍の手中に落ちた。銃声が一発、二発とひびいて、兵士たちは処刑場をひきあげていった。墨々たる死屍、斜陽が映りかえす長い石の壁に、まぼろしの少女が立ちあがり、黒い裳をひいてゆつくり歩き出す。正面をみすえてどこまでも、あのロペスの絵の少女が……。

原 作	五木寛之	企 画	柳 夢 敏	脚 本	佐々木 守	監 督	山下 耕 作	編 集	橋本 泰 雄	技 術	橋本 泰 雄	照 明	岡本 成 典	音 楽	ジョー・山中	絵 画	宮中 義 夫	影 影	竹島 義 太郎	協 助	カール・ワイルムド・フレア(仏) スペイン・プラド美術館 給 東宝株式会社	製 配	サントラ歌 作 詞 歌 哀しみのフロレンス 作 詞 ソニア・ローザ 作曲 ジョー・山中 歌 アリアアロドリゲス	主 題	歌 哀しみのフロレンス	■キャスト	鳴海望洋……………鶴田浩二 江間隆之……………伊藤孝雄 秋沢冴子……………樋口可南子 秋沢敬之助……………佐藤 隆 黒崎良平……………長 門 裕 朗 谷沢康吉(康美)……殿 山 泰 司 盗掘のリーダー……浜 村 純 鹿火華人……………大 木 実 原島雄一郎……………伊 藤 雄 之 助 原 良 介……………柴 崎 勝 利 伊崎史郎……………岩 城 滉 一 藤 乃……………常 田 富 士 男 久 美 子……………東 郷 英 健 エラ……………オナイ・チエリ 久美子……………朝 丘 百 合 子 政府大臣……………福 業 義 朗 総理大臣……………青 木 義 男 イザベル……………エリザ・セウヴェレル ミイラ軍將校……………アルハンドレ・レイロ ドミゲル・ロペス……………ハイロ・アリアス その妻……………レオナルド・スカン まぼろしの少女……………イタリー・マシヨ パプロ・ロペス……………ラモン・テラス・マシヨ バルデス夫人……………ルイス・エリナ・カステナス
-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	---------	-----	---	-----	--	-----	-------------	-------	---